

施策	82	三遠南信・中京圏の連携推進				政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり		
施策主管課	企画課		課長名	松尾 聡	内線	2220	政策担当部長名	総合政策部長 今村和男		
施策関係課名	学校教育課									
重点施策	関連計画		リニア将来ビジョン、三遠南信地域連携ビジョン							

1 施策の目的

目的	対象	市民、行政								
	意図	三遠南信、中京圏域と 共通の課題を認識する。 協力し補完しあう。								

2 現状把握

(1)対象指標、成果指標の状況

対象指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	見込み 28年度
住民人口		人	105,691	105,335	104,728	103,947	103,105	102,446	102,000
成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理									
三遠南信・中京圏との都市間交流に参加している市民の割合		%	10.2	9.2	9.1	10.0	9.2	9.1	15
三遠南信・中京圏との連携や交流が重要だと思う市民の割合		%	72.1	71.3	69.5	72.1	71.9	72.2	75

(2)成果向上に向けての役割分担

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
行政	市(国・県)	地域経営戦略として積極的に交流・連携する。歴史・文化的に繋がり強い三遠南信・中京圏との交流・連携を市民に啓発する。	三遠南信・中京圏で交流している自治体数	33	33	33	35	32
			三遠南信・中京圏の情報発信数(三遠南信クチコミ情報発信回数・月間) 三遠南信地域連携ビジョン推進のため、浜松、豊橋の両市との連携を中心に、三遠南信地域連携ビジョン推進会議の中で主体的な役割を担う	2	2	2	2	2

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項
市民等	市民(個人・事業者・各種団体)	積極的に交流・連携する意識を持つ。	三遠南信・中京圏と連携している市民の割合と、団体の数	住民レベルでの交流組織が、エリア案内冊子の作成などを行っている。 浜松、豊橋、飯田の三市の中学生が交流学習会を行っている。

3 平成26年度の評価結果

(1)実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

計画どおり取り組めた
おおむね計画どおり
あまり取り組めなかった
達成できなかった

(2)施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

進んだ
ある程度進んだ
あまり進まなかった
進まなかった

4 平成26年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

・生活圏、経済圏から見ても県境にとらわれない取り組みが重要性を増しており、そのような中で三遠南信連携は先進的な政策モデルとして評価されているところである。地域住民、大学、経済界、行政など様々な主体が地域活動のビジョンを定め活動の方向性を合わせ、新たに体制を再編した三遠南信地域連携ビジョン推進会議を中心にビジョンの推進を図っており、三遠南信サミットの開催、情報発信、物産展など交流人口の増に努めた。成果指標は横ばい傾向も見られるが、事務事業が概ね計画どおり実施できた状況からの評価とした。

【事務事業群のテーマ別評価】

< 他圏域との連携強化及び都市間交流の意義啓発・発信 >

【三遠南信及び中京圏との交流推進事業】

・三遠南信サミットの開催、三遠南信地域の情報発信により地域間の交流・連携の強化が図れた。また、物産販売や三遠南信口コミ情報の発信によって、交流人口増の促進を図った。

・市民レベルにおいては、飯伊地域内、16の市民団体より組織された団体「南信州交流の輪」を中心として、東三河、遠州地域の住民団体と連携した事業に取り組んでおり、三遠南信サミットの住民セッションにおいて交流の継続と事業化に向けた取り組みについて確認された。

・平成26年7月から三遠南信地域連携ビジョン推進会議の体制が南信州エリアから中川村・飯島町・宮田村・駒ヶ根市が、遠州エリアから掛川市・菊川市・牧之原市・御前崎市がオブザーバーから正式加入となり新SENAとして再編され、道路、経済、安心安全について事業部会を設置し、重点事業に取り組むこととした。

・愛知県等が指定を受けている「アジア 1航空宇宙産業クラスター形成特区」の区域拡大に飯田・下伊那地域も加わり、当地域への航空宇宙産業の集積を図った。(主には施策13「新しい力による新しい産業づくり」にて掲載)

・中京圏については、岐阜市をはじめとした都市間交流に向けた取り組みを行っている。

【三遠南信中学生交流事業】

・平成26年度は飯田市を会場に、豊橋、浜松、飯田市の中学生合計136人が参加し、メガソーラーいいだ等を見学。三遠南信中学生サミットを開催し、「環境を守るために私たちができること！」をテーマに意見交換を行い中学生の役割について検討、意見発表をした。将来を担う中学生が環境をテーマに交流を図ることができた。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

< 他圏域との連携強化及び都市間交流の意義啓発・発信 >

【三遠南信及び中京圏との交流推進事業】

・住民団体である「南信州交流の輪」が「祭り街道弁当」事業に取り組み、東三河、遠州地域からの交流人口増に努める。こうした住民レベルの自主的な取り組みをさらに支援していく。

・新SENA体制の下、「道路部会」「産業部会」「安心安全部会」がそれぞれ3カ年計画を基に事業推進を図っていく。

・愛知県、岐阜県、三重県の各都市との交流や情報交換を通じ「アジア 1航空宇宙産業クラスター」形成に資する取り組みを進める。

【三遠南信中学生交流事業】

・引き続き、三遠南信中学生交流を継続し、飯田市の魅力を発信するとともに、交流を進める。

6 平成26年度事務事業 施策系統図

目標 施策8-2

対象
市民、行政

意図
三遠南信、中京圏と
共通の課題を認識する
協力し補完しあう

成果指標

都市間交流に参加している
市民の割合
(三遠南信・中京圏)

三遠南信・中京圏との連携
や交流が重要だと思う市民
の割合

他圏域との連携強化

都市間交流の意義啓発・発信

事務事業

三遠南信及び中京圏との交流推進事業

三遠南信地域連携ビジョン推進事業

三遠南信中学生交流